



有限会社吉田工業

vol.1

2023年1月15日発行





代表取締役社長

YOSHIDA TADAKATSU 吉田 忠克

有限会社吉田工業は父である先代社長が1974年（昭和49年）に独立し、1987年（昭和62年）に法人化した会社です。創業者の家に生まれ、厳しく育てられたという吉田忠克代表取締役社長に、幼少期から入社までの思い出を語っていただきました。

幼少期はどのようなお子さんでしたか。

私は下に弟、妹がいる3人兄弟の長男として育ちました。私が生まれ間もなく、父が会社を立ち上げ、毎日現場から真っ黒に汚れて帰宅。どこかで遊んでくる様子もなく、まさに仕事人間でしたね。私はやんちゃな子どもで、弟を連れていたずらをしては、よく叱られたものです。父からあれこれ考え方を押しつけられるようなことはありませんでしたが、何か悪さをすると厳しくしつけられ、悪ふざけが度を越した際には、墓石にくくりつけられたことも…。今思えば、いつか自分に会社を継がせるために善悪を厳しく教えてくれ、一生懸命育ててくれたのだと思います。

子どもの頃に熱中していたものは何ですか。

小学生から中学1年生まで打ち込んでいた、サッカーです。東北大会で優勝するほどの強豪チームで、私の1つ下、2つ下は全国大会にまで進んだ実績があるほど。当時チームの指導者を務めていた岡田監督は厳しい一面があると同時に、実力も指導力も備えている人でした。毎日夕方4時から夜の8時まで練習があり、練習後にはグラウンドを10往復、タイヤを引いて走る日課をこなさなければなりません。大変きつい練習でしたが、そのおかげで基礎体力が備わり、チームの強さにも繋がったと思います。いまだに当時の練習メニューの過酷さは、同級生との語り草になるほどです。当時、岡田監督からは、「継続は力なり」という言葉をかけてもらいました。1日休んだら取り戻すのに3日かかるから休むなど。今でも胸に刻まれている言葉です。

その後、どんな 学生時代を過ごした のでしょうか。

サッカーをやめてしまった理由は、中学でとある先輩たちと仲よくなり、遊び回るようになったから。学校生活もおろそかにしてしまい、家では父に怒られ、学校に行けば先生に怒られる毎日でした。そういった日々が続く中、中学2年生の2学期にこのままでは高校に行けないと先生から伝えられ、悔しさから猛勉強を開始。3年生のクラス担任の先生は、ずる休みしていたのを病欠扱いにしてくれるなど、私を根気強く見守ってくれました。

その後、高校合格の知らせを受けた私はアルバイト探しに奔走。ホンダのCBRというバイクを買う目標を胸に、根本通商株式会社が運営するガソリンスタンドで真面目に働きました。当時のマネージャーは面倒見のいい人で大変お世話になりましたし、社長の息子さんは今の私を見て、「立派になった」と褒めてくれるなど、周りの大人に恵まれていたと思います。

吉田工業入社の 経緯について お聞かせください。

バイクを乗り回していたことをきっかけに、怒った父が私を現場に連れて行き、修行の日々がはじまりました。しばらくすると、「これからは資格の時代だから」と高等学校卒業程度認定試験（高卒認定）を受けよう諭され、仕事の傍ら通信制の学校に通ったのです。

父には常に反抗的な態度を取っていましたが、最終的には父のアドバイスを聞いて行動していたように思います。父のいうことはいつも正しいと思っていた

ため、高校受験のときも、「後を継ぐなら工業高校に行け」といわれて工業高校を選び、高卒認定を取るべきだと伝えられた際も取得を決心しました。

勉強同様、仕事にも真面目に取り組む中で、当時意識していたのは父と二人三脚で仕事をしていたベテラン社員。「この人に負けたくない」との一心で技術を身につけました。仕事に慣れてくる不注意から機械を壊す失敗もありましたが、周りの方々は頭ごなしに怒るのではなく、うまくフォローしてくれ、助けられた思い出もあります。

私が仕事を通して教えられたのは、「いくら眠くても、何しても、現場にだけは出てこい」というもの。1日休むと機械をばらしたり組み立てたりといった工程が分からなくなる。つらくても休むな。サッカーをしていた頃の「継続は力なり」がここでも繋がっていたのです。

サッカーの指導者から受けた教えを胸に、仕事に励んできた吉田社長。今に至るまでの道のりの中で、特に記憶に残っているもの



▲〇〇〇〇年の〇〇にて

とは一体何でしょうか。続いて、吉田社長の胸中と会社の未来に迫ります。

（後編に続く）



▲日光東照宮の「見ざる、言わざる、聞かざる」

企業情報

設立年：1987年5月12日

年商：21億円

※2022年3月時点



社内報発行 スタートのお知らせ



この度、吉田工業では社内報を発行することになりました。

その名も『YOSHIDA MAGAGIZE』。

記念すべき第1号では、社内報の制作担当者3名をご紹介します！

プライベートな質問に答えてもらい、最後には社員の皆さんへのメッセージもいただきました。

社内報が社員の絆を深めるツールとなるよう、皆さんもご協力をお願いします！

社内報『YOSHIDA MAGAGIZE』発行の目的

- 1 新しいコミュニケーションツールとして
- 2 会社や一緒に働く仲間のことをより深く知ってほしい
- 3 社内で活躍する皆さん一人ひとりのことを広く伝えたい

私たちが担当します

建設部 部長

きむら ひろゆき
木村 博幸さん



出身地 福島県いわき市

血液型 O型

好きな食べ物 焼き肉

趣味や最近ハマっていること

キャンプとBBQ



楽しんでもらえるような社内報を作っていきたいと思います。皆さんにも協力していただくこともありますので、よろしくお願いいたします。

日々の業務お疲れ様です。社内報制作メンバーの正木です。この社内報を通じ、まだ面識のない従業員の方々がお互いのことや会社の情報を知ること、やりがいやモチベーションの向上に繋がればと考えております。皆様に読んでいただける社内報を制作できるよう頑張りますので、よろしくお願いいたします。

復興部 部長補佐

まさき ゆうま
正木 雄馬さん



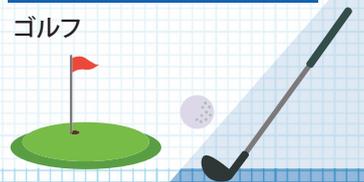
出身地 福島県いわき市

血液型 O型

好きな食べ物 家系ラーメン

趣味や最近ハマっていること

ゴルフ



工事部

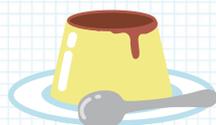
さかい まさたか
酒井 将貴さん



出身地 福島県浪江町

血液型 O型

好きな食べ物 甘い物



日々の作業お疲れ様です。そしてお世話になっております。これから寒さが増し大変だと思いますが、無事故、無災害で頑張っていきましょう！ご安全に！

The “POWER” of the field.

現場のちから

世界最高水準の発電システムを持つ「JERA川崎火力発電所」の現場に密着！タービンが6基並列しており、複雑な構造のガスタービンもオーバーホールしたのが、今回の現場ならではの特徴です。工事部部長の栗崎さんは、一体どのようにして乗り越えたのでしょうか？

現場の概要

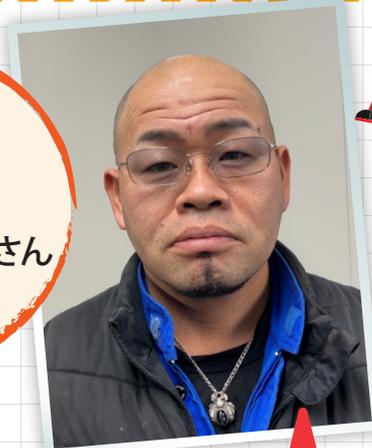
火力発電所でタービンのオーバーホール

現場名称：JERA川崎火力発電所
住所：神奈川県川崎市川崎区千鳥町5-1
工事期間：令和4年10月31日～令和4年11月25日
※吉田工業が携わった期間

工事部
部長

くりさき あきお

栗崎 秋夫さん



今回はJERA川崎火力発電所で、スチームタービン（ST）とガスタービン（GT）をオーバーホールして点検する業務でした。担当するタービンの全てを分解し、摩耗しすぎた部品を交換。正常に動くか計測した後、全てを組み上げて作動する状態に戻し、お客様に引き渡すまでが一連の流れです。7～8名ずつの2班にわかれてスチームタービンの夜勤、ガスタービンの昼勤・夜勤に従事し、親会社や元請けの方も一緒に作業しました。

※タービン…蒸気などの流体が持つエネルギーを回転エネルギーに変える機器のこと

※オーバーホール…機械製品を部品単位まで分解して清掃・再組み立てを行い、新品時の性能状態に戻す作業のこと

現場の特徴

普段よく行く火力発電所はタービンが2基並列してあるパターンが多いのですが、今回は1-1～3軸、2-1～3軸と6基が並列しており、そこが大きな違いでした。6基のうち当社が担当したのは、1-3軸のスチームタービンとガスタービンです。

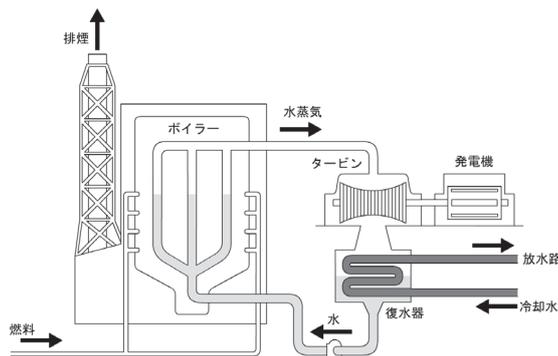
複雑な構造のガスタービンの分解に苦労

スチームタービンのシンプルな構造に比べて、ガスタービンは周囲に燃焼器など細々とした機械がたくさん付いているので、分解することにもっとも苦労しました。

また、私はガスタービンを手掛けた経験が少なく、今回久しぶりに触ったので、知識がほぼ素人に近い状態でした。そのため心掛けていたのは、些細なことでも頭のなかでクエスチョンになったことは、親会社や現場のリーダーに聞くことです。おかげで改めて、ガスタービンの仕組みや分解の手順を学びました。

今回の現場ならではの学び

組み立ての際、ボルトや部品の合わせ目に潤滑剤や防腐剤、焼付き防止剤などを塗布します。一般的にはこうしたものは塗布する箇所ごとに種類が異なるのですが、今回は全ての箇所で1種類のものに決まっていたのが、他の現場と違うと思いました。



皆さんへメッセージ

「作業」ではなく「仕事」をしましょう！

まず、決まったことはきちんと守りましょう。次にスチームタービンやガスタービンの構造を理解した上で、作業を進めること。そして絶対に自分の思い込みで作業をしないこと。頭に疑問が湧いたら恥ずかしいと思わずに、わかる人に聞きましょう。もし何か失敗したときは隠しごとをせず、すぐ上司に報告してください。ただ「作業をする」のではなく、こうしたことを心掛けているのが「仕事をする」ことだと思います。これからも頑張っって良い仕事をしていきましょう！

2023年目標宣言!

2023年に成し遂げたい目標はありますか?
今回は9名の皆さんに、仕事とプライベートに分けて今年の目標を宣言していただきました!目標達成を目指し、充実した1年にしていきたいと思います。

仕事 1日でも早く仕事と技術を覚えて、皆についていけるようにします!

自分が何もできないと会社の人に迷惑と時間をかけてしまい、1日の仕事も納期も遅くなってしまいう可能性があるからです!

プライベート

体重を55kgまで落としたい
太っていても体に悪い、負担しかかからない、なんせ醜い!痩せます!



せきね てつや
工事部 関根 徹也さん

仕事 無事故・無災害・明るい職場!

現場で事故・災害を起こしてしまうと、どうしても現場の雰囲気が暗くなってしまいます。その雰囲気が私はとても嫌で、そうならないためにも、まずは自分が先頭に立って、どうすれば安全・安心な現場にできるということを第一に考えようと思います。一緒に働く仲間と、明るく楽しく仕事をしていきます。

プライベート

釣りキャンプ!

趣味が釣りとキャンプなのですが、釣りをしながらキャンプはまだやったことがないので、挑戦してみたいと思います!



建設工事部 いしかわ たつひこ
機械課 課長 石河 達彦さん

仕事 怪我をしない・させないよう安全作業を心がける!

作業中は常に危機感をもって集中力を切らさず周りの状況を確認して仕事をする!

プライベート

日曜大工をしたい!

今年、中古の家を買ったので自分の手でリノベーションをしたい!



建設工事部 むらやま ひろと
村山 紘斗さん

仕事 安全第一、堅実、确实!

安全第一に取り組み、作業や工期の堅実・确实を目標に!

プライベート

2023年こそは、ベストスコア更新!(ゴルフ)

プライベートも全力で!



管工事課 やまき しゅんすけ
課長補佐 八巻 俊介さん

仕事 人材の育成

ヒューマンエラー、人身災害、不適合をなくすため、取り組みとして、作業前のKY活動で自ら発言したり自分の知っている災害事例を挙げたり、若手に仕事の流れややり方を教えていきます。

プライベート

新しい趣味を見つける!

アウトドア、インドアに関わらず色々なことに挑戦していく1年にしたいと思います。合わなくても3か月は継続していけるよう努力していきます!

火力部署

みなとや しょういちろう
湊谷 翔一朗さん



仕事

1年を通して無事故、無災害
建設業では災害が多いため、自分の現場では無災害を目指します。

プライベート

普通自動二輪の免許取得
40歳になり、新たなことにチャレンジしたいと思いました。



管工事課
課長

いがり ゆうじ
猪狩 裕二さん

仕事

1日も早くこの会社の役に立てるよう、仕事を覚えて頑張りたいと思います

私は、2級管工事の取得に挑戦したいと思っています。まだまだ未熟な私ですが、1日も早く仕事を覚え、この会社に貢献したいと思っています。

プライベート

ランニングをして体力をつけて、筋トレをしてムキムキになり、50kg減量する
体の動きを軽くするため、ダイエットします。
仕事も疎かにすることがないように、今まで以上に精進してまいりたいと思っています。



工事部 工事三課
課長

こまつ だいすけ
小松 大介さん

仕事 安全と品質

業者さんと一緒に作業するとき、「危ない」と思ったら声をかけ、危険の芽を摘んでいきたいと思っています。

プライベート

体調管理

不健康な身体を、健康な身体に近づけたい!



工事部 工事二課
課長

まつもと あつし
松本 厚さん

仕事

毎年同じなのですが、知識や技術をつけ、1つでも多くのことを経験し、日々進歩する1年にしたい
技術は習熟すればするほど上がって、知識は得れば得るほど先があって、やればやるほど建設業っておもしろい!

プライベート

目指せ、-51kg!

今まではダイエットを始めても、妥協でリバウンドの繰り返しでした。妻や娘との約束もあるので、今年こそは目標達成するまで妥協しないぞ!



工事部 工事三課
課長補佐

すずき かつや
鈴木 克也さん

